

切田



世界をつなぐ  
未来をつなぐ  
県民大学の  
お接待。

学



international student 2014



生



し  
そ



高知県立大学／学長  
南 裕子

# 県立大学のおもてなし

## 大学みんなで、留学生生活を応援!

学長:海外から優秀な私費留学生をお迎えできて、とても嬉しい。大学を挙げてウェルカムな気持ちです。

陳:先生方には、寮のことからビザの手続きまで、いろいろ配慮していただいております。心遣いに感謝です。僕は毎日、安心して勉強することだけを考えればよいと思っています。

学長:お二人とも1年前に来日して日本語学校で勉強された。今は日本人学生と同じように授業も、課題もすべて日本語で受けられています。大変ではありませんか。

陳:たまに日本語が聞き取れない部分があったり、日本語での宿題や課題に毎晩、苦戦しています。

学長:そのサポートのために日本の学生に課している英語を免除して日本語を外国語としてもらっています。

安:私は社会福祉学部で勉強していますが、やっぱり、社会福祉を学ぶ場所だけに人との接し方が全然違う。先生も学生も私の力になってくれます。

学長:中国は社会福祉が発達して来ていますから、安さんは中国で社会福祉のパイオニアになられますね。

安:国公立の大学で社会福祉の分野は少なく、質が高い大学はそんなに多くないです。だから、すでに看護の分野では全国でも有名な県立大に入学できて、すごく嬉しい。いつか北京に自分の老人ホームを建てるのが夢です。

学長:それは壮大な夢ですね。社会福祉としては、私はこの高知県立大学は全国でもリーディングスクールの一つだと思います。陳さんはどうして文化学部を選んだのですか。

陳:大阪の日本語学校の先生に、私は言葉のセンスがあるから、その道に進んだらいいと勧められました。先生がそう言ってくださるのなら挑戦してみようかなと思って、言語コミュニケーション専修のある文化学部を選びました。日本語をマスターするのが私の目標です。2020年の東京オリンピックが、私の活躍する場になるかも。そして将来は日本と中国の架け橋になります。



学長:それは頼もしい。皆さんがよい留学生活のスタートをきれたようでよかった。4年間は長いので自分の学びがしっかりできるように、そしてそれが将来につながる学びになるように、私たちもサポートを惜しみません。



安 東 (私費留学生:中国)  
AN DONG  
社会福祉学部  
社会福祉学科 1回生



陳 穎聡 (私費留学生:中国)  
CHEN YINGCONG  
文化学部  
文化学科 1回生

# 日本を学ぶ 高知で学ぶ

高知県立大学の国際交流は、平成10年にアメリカ・マサチューセッツ州のエルクズ大学に始まり、その後平成18年から20年にかけて中国の北京聯合大学旅游学院、台湾の文藻外語大学、カリフォルニア州立大学ノースリッジ校(CSUN)等と協定を結び、毎年交換留学生を派遣し、受け入れてきました。さらに近年、南学長のもと、イタリア・ヴェネツィア「カ・フォスカリ」大学、マレーシア国立サバ大学、インドネシア国立ガジャマダ大学とも協定を結び、学生や教員の交換を始めています。他にもカリフォルニア州立大学サンフランシスコ校看護学部(UCSF)とは学術交流を目的とした協定を結んでいます。

留学生の多くは、主に文化学部で授業を受けますが、池3学部での授業体験や学生交流、学外活動をとおして地域文化を知る機会も設けています。さらに昨年は健康栄養学部がマレーシアからの留学生の受け入れを始め、全学的に、留学生との交流が活性化しています。

本学の国際交流活動は、留学生の数は多くないものの、学生チューターや国際交流クラブ等の学生および教職員による手厚いサポート体制があることが特徴です。本学の特徴である、学生一人ひとりを大切にする少人数教育は、留学生にも共通しています。留学体験や留学生との交流をとおして、日本人学生も相対的に日本を捉え異文化を尊重する「多文化共生」の視点を持ち、諸外国との架け橋となる人材が育つことを願っています。



国際交流委員長  
長澤 紀美子

# 日本のマナーに興味があった



日本に住んでいた中国人の友達から、日本の話を聞いているうちに興味を持つようになりました。私は高知が初めての海外で、初めての一人暮らしなのでワクワクしています。私は日本人のマナーや控えめなところが大好きで、心がすっきりします。中国の大学では観光ビジネスの勉強をしているので、日本のマナーやサービスを学んで帰りたいです。今、東原先生に教わりながら「源氏物語」を日本語で読んで感激しています。

LI TIANYUE  
**李天樂**

交換留学生  
中国/北京聯合大学旅游学院

# 日本人と話すのがおもしろいね!

中国広州の出身です。これから4年間、高知が僕の住む街になります。名前の聡という漢字から、日本の先輩たちは僕を「さとし」と呼びます。日



本人と話すのはお互いに知り合っておもしろいし、日本人も僕を面白がってくれます。高知は街が小さいので自転車



でどこにでも行ける。高知に来て驚いたのは川に鯉がたくさんいること。中国では貴重な食材だけど、日本人はあまり食べない。そういう文化の違いや発見もおもしろいです。

CHEN YINGCONG  
**陳穎聰**

外国人留学生  
中国/文化学部1回生

# 留学生は今日も 元気に国際交流! 高知

私の大学では成績順で高知と沖縄の交流締結校に留学できます。私は日本っぽいところに来たかったので高知を選びました。県立大では日本語教育の勉強をしています。高知は北京に比べて交通が不便ですが、自然が多く、空気がきれいでおいしい。それに日本人はとてもおしゃれで、若い人も年配の人もみんな、きれいにお化粧して外に出かけます。中国の女の子はお化粧が面倒と思う人が多いので、身だしなみを見習いたいな。



日本人はとってもおしゃれ!

LIU XI  
**劉夕**

交換留学生  
中国/北京聯合大学旅游学院



# スーパーマーケットでカード作ったよ!

子どもの頃から日本の漫画やアニメ、ゲームが大好きで、いつか日本で生活してみたいと思っていました。通訳をめざしているのですが、今は聞くもの、見るものすべてが日本語に包まれていて、すごく嬉しい。でも日本人は表現が曖昧で、少し心に壁があるみたいで緊張します。寮は自炊なので早速、近くのスーパーマーケットでカードを作りました。ポイントが貯まるだけでなく、支払いもできるなんて驚きです。気分転換に鏡川によく散歩に行きます。



CHAO CHIALLING

**趙佳琳**

交換留学生 台湾/文藻外語大学

# 日本のラーメンのおいしさにびっくり!



小学生の時に日本のアイドルグループのファンになり、日本語を勉強するようになりました。うちの大学からは毎年、高知に短期留学していて、先輩のレポートに高知は自然が多く、生活費が安くて住みやすいと書いてありました。そのとおりでした。日本に来てラーメンのおいしさにびっくり。日本の中華料理はまったく辛くなくて、逆にそれも驚きでした。将来は中国語、英語、日本語を生かして通訳か翻訳家になりたいです。

CHEN SHUHUI  
**陳淑惠**

交換留学生  
台湾/文藻外語大学



# 高知は人の視線があたたかい

僕の故郷は中国の内モンゴルです。日本への留学が叶ったのは、心配する両親を学校の先生たちが説得してくれたから。恩返しのためにも一生懸命、勉強しなければいけません。大学生活は忙しいけれど、友達に誘われて合気道部に入りました。先生に「人生は楽しくなければ合気ではない」と教わりました。日本語を勉強するために東京に1年間住んでいたけれど、人々の目が冷たかった。高知の人は親切で視線があたたかいです。



AN DONG  
**安東**

外国人留学生 中国/社会福祉学部1回生



# ちょっといいですか



インタビューー  
**織田 梓嵯**  
文化学部文化学科 3 年生

国際交流締結校イタリア「ヴェネチアカポスカルリ大学」から、今年も 10 人の短期留学生が県立大にやってきました。代表 3 人に高知のこと、県立大のことをお聞きします。

## どうして？ 高知？

**Damiano Rondon**  
ダミアノ・ロンドン

**Fabiana Tricarico**  
ファビアナ・トリカリコ

**Nicola Cazzaro**  
ニコラ・カッツァーロ

### ぼくらが高知を選んだ理由。

**織田**：イタリアの大学で日本語を学んでいる皆さんです。きっかけは何ですか。

◎**ニコラ**：子どもの時から日本の漫画やアニメが大好きだったので、もっと日本の文化を知りたくてやって来ました。

◎**ファビアナ**：私は高校を卒業して働いていましたが、何か特別な勉強をしたいと思って大学に入り、日本語を選びました。

◎**ダミアノ**：私は高校の頃から外国語と武術に興味があったので、日本語の勉強を始めました。大学では人類学を専攻していて日本の生活について研究したいと思っています。

**織田**：日本の大学の中から、皆さんはなぜ高知県立大学を留学先に選んでくれたのですか。

◎**ニコラ**：日本のどの大学に行くか、3校から選ぶことができました。僕は高知県立大学に来たかった。先輩たちがみんな、高知はすごくきれいな街で、安全で、学生にとって生活環境がとてもよいと言っていたからです。

本当にそのとおりでした。僕も後輩に必ず高知をすすめます。

知りたかったことが高知にはある！

◎**ファビアナ**：私は京都、東京にはいつでも行けると思ったので高知を選びました。自然が多くていい街です。

◎**ダミアノ**：私は特に四国遍路に興味があって、高知を選びました。大学の交流イベントで安楽寺や竹林寺に行けて嬉しかった。困ったことがあると、すぐに先生や職員のみなさんが助けてくれてありがたい。

◎**ファビアナ**：学生たちは、私たち留学生を喜ばせるためにいろんなイベントを計画してくれています。

◎**ファビアナ**：外国人が多い東京や大都市に行っていたら、きっとこんなシチュエーションにはならないと思います。みんな、とても親切。私が一番好きな場所は高知城のそばの公園。私はイタリアで植物園に行ったことがなかったので、牧野植物園は面白かった。

◎**ニコラ**：ぼくはブックオフ(爆笑)。大好きな漫画を安く買えるので便利なところ。好きな場所は山内神社。静かだから集中できるし、悩みがあっても心が落ち着きます。

◎**ダミアノ**：筆山からの眺めもすばらしい。

### 高知を思い出してホームシックになるかも。

**織田**：3カ月の留学期間は、私たち迎える側にとってもあつという間でした。

◎**ニコラ**：毎日がすごく楽しくて、この留学が終わると考えるだけで気持ちが沈む。イタリアに帰ったら日本や高知のことを思い出して寂しくなると思っています。高知にもう一度来られたら嬉しい。

◎**ダミアノ**：私は人類学者になりたいので、いつかまた高知に四国遍路やお接待、おもてなしの心について研究しに来たいと思います。

◎**ファビアナ**：私は今まで一度も日本料理を食べたことがありませんでした。でも今は大好き。特に寿司、ラーメン。日本や高知の人や食の文化にふれられて世界が広がった。

◎**ニコラ**：学食のおばちゃんが作ってくれるカラアゲと別れるのも悲しい。実は僕、ほとんど毎日食べています(笑)。

◎**ダミアノ**：県立大で出来た友達とは、イタリアに帰っても交流は続くと思うし、ぼくらの大学、街にもぜひ来てほしい。



### 高知の人は明るく話しかけてくれる。

**織田**：高知でお気に入りの場所はありますか。

◎**ダミアノ**：私はひろめ市場によく行きます。“ガイジン、一緒に飲もう”と誘ってくれて、知らないおじさんやおばさんがよくおごってくれる(笑)。高知の人は明るくて、スーパーマーケットでもどこでも、どこにいても気軽に話しかけてくれます。



# 留学生のその後



クリストファー ライオンズ

## Christopher J. Lyons さん

- 出身大学 / エルムズ大学 (アメリカ)
- 在学期間 / 2011.5.21 ~ 2011.8.14 (文化学部)

### 留学は私の可能性を広げてくれました。



留学中の習字の時間に扇子への揮毫に挑戦。

私がエルムズ大学生として、初めてこの大学に来たのは2009年のことです。2週間の短い研修でしたが、私の将来に大きな影響を与えました。そして2011年、私は再び高知を訪れ、五百蔵先生の下で3カ月間勉強することになったのです。やさしい先生方と親切的な学生たちのおかげで、高知について、また自分自身について、たくさんことを学びました。そして2度目の留学を終えた時、私はまた高知に戻ってさらに日本語を学び、教師としての技術を学び、この面白い国についてもっと学びたいと考えました。現在、南国市でALTを務めています。後期からは池キャンパスで非常勤講師になることが決まっています。私は前を向いてこのチャレンジを受け止めるつもりです。すべての経験は学ぶ機会であり、人生は毎日が勉強。私のアドベンチャーはまだ始まったばかりです。

#### クリストファーさんとの思い出！

現在は、友人としてお付き合いいただいています。きっかけは5年前。Elms Collegeの大学院生のとき交換留学生として3カ月滞在しました。毎日熱心に授業見学に出かけ、記録していました。滞在中に徳島県の祖谷に一緒に行き、その後、九州や台湾へも足を伸ばしました。大学院修了後、日本で外国語指導助手になることが決まったときには大喜びでした。優しいし、人なつこい。誰にでも気さくに話しかけ、問いかけ、吸収していく。これがクリス君の強みです。日本語は急速に上達し、最近、「土佐弁ミュージカル」の舞台上で登場して、堂々たるアクションと長い土佐弁のセリフのこなしを見せてくれました。驚きました。こりゃあなかなかのものぜよ。\*



五百蔵 高浩 教授

\* (現代標準日本語訳 [これは注目に値する人物です。])



HUANG HSINCHIU

## 黄 馨萩 さん

- 出身大学 / 文藻外語学院 [現: 文藻外語大学] (台湾)
- 在学期間 / 2008.4.1 ~ 2009.3.31 (文化学部)

### 留学はかけがえのない経験でした

2008年、交換留学生として高知女子大学に留学したことは、私にとってかけがえのない経験でした。勉強は前期26単位というかなりハードでしたが、私が学んでいた地域文化論演習では、ただ机に向かってのとは違い、学生が地域に出かけて行き、さまざまなプロジェクトにも取り組んでいました。そこで実際に体験しながら環境や人への理解を深めることで、より身近に日本の暮らしや文化を感じることができるようになりました。私が今、オーガニック業界で働くことになったのも、このゼミの影響はかなり大きかったです。「留学」は言語の勉強に限らず、いろいろな活動に幅広く積極的に挑戦すれば、自分の可能性はもっと広がっていくということ、私は今になって身に染みるほど実感しています。



室戸市吉良川町で、まちづくり活動に参加。

#### 黄さんとの思い出！

初めてあなたがゼミに来た日、「この学生誰だっけ?」と思った記憶があります。まさか、厳しいと評判の「清原熱血ゼミ」に留学生が来てくれるとは…。あなたは勇気があった(笑)。あなたは、日本人学生以上に日本語が上手で、よくゼミの学生たちに「黄さんを見習え」と言いました。私が強く印象に残っているのは、卒業レポートの作成で、よさこい祭りをテーマにしたことです。いっしょに土佐市のスポーツクラブまで聞き取り調査に行きましたね。下書きができてからは何回も相談しながら手直しして、あなたが高知を離れたあとは、メールのやりとりで指導した。お互いに「熱血」でしたね(笑)。



清原 泰治 教授

「高知家」の一員になってもらえるプログラムを。



高西 成介 准教授 ◎文化学部

イタリアの学生たちの日本、高知への関心の高さには毎回驚かされます。高知滞在をとおして留学生に立派な「高知家」の一員になってもらうべく、良いプログラムの実施に向けて頑張ります。

日本社会で生きて行ける術を教えます。



向井 真樹子 講師 ◎文化学部

留学生の大学生活や日常生活のアドバイスをするだけではなく、日本語を教えながら議論の仕方、論文の書き方など、日本社会で生きて行けるような術を教えています。

留学生にとって日本語の窓口となります。



今井 多衣子 非常勤講師 ◎文化学部

できるだけ留学生たちの疑問、質問に答えられるように、また丁寧な日本語の指導を心がけています。高知に来て良かったと思ってもらえるよう積極的に高知を紹介しています。

# 留学生のキャンパスライフはわたしたちがサポート

留学生の困りごとを解消する何でも屋。



漆畑 愛弓 ◎永国寺キャンパス学生課

みなさんが留学生活に不安や不便を感じることなく、「高知県立大学で学べて楽しい!」と笑顔になってもらえるように事務室で対応できることなら何でもサポートしています。

一人ひとりに合ったサポート。



山本 桂子 ◎永国寺キャンパス学生課

さまざまな国から来ている留学生たちが安心して充実した生活を送れるよう、一人ひとりに合ったサポートや相談業務を行いながら、楽しい思い出を残してもらえるよう努めています。

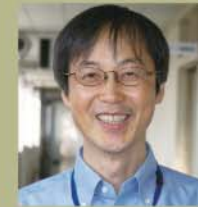
お接待の気持ちはどの国でも同じ。



池 純子 非常勤講師 ◎文化学部

日本語と中国語を教えるながら私が心がけているのは、相手の文化を尊重し、その文化に好奇心を持つということ。相手への気遣い、お接待の気持ちはどの国でも同じようです。

留学生の受け入れ本部は池キャンパス。



文野 道章 ◎池キャンパス学生課

留学生の多くは永国寺キャンパスに通っていますが、受け入れ本部は池キャンパスにあり、主に私の仕事です。歓迎会やバスハイクの支援もやっています。普段の生活や困りごとについては、いつでも相談に乗りますよ。

頼りになる身近な友人

## 学生チューター

学生チューターは留学生のお世話係として、授業履修から日常生活まで留学生の学生生活全般に関わり、身近な友人としてサポートします。

留学生と同じ時間を過ごすことで逆に日本のよさを教わった。

2回生になったらアクティブになると、チューターを始めました。国際交流運動会で、留学生たちが国境を越えてお互いに応援し合う姿がとても印象的で心に残っています。留学生たちと同じ時間を過ごすことで、日本の良さを再認識することができ、私の方が彼らにさまざまなことを教わっているような気がします。



チューター 古浜 里穂 文化学部:2回生

日本語が上達していくのを感じると、本当に嬉しい。

中国・台湾の留学生たちと接していく中で、みんなの日本語が日に日に少しずつ上達していくのを感じると本当に嬉しく、チューターとしてのやりがいを感じます。また、日常的な日本語の会話を中国語に訳してもらったり、普段の授業ではできない楽しさがあり、むしろそのほうが覚えやすいように思います。



チューター 濱脇 由菜 文化学部:2回生

チューターをすることで大切な友達が増えました。

文化が異なる留学生に生活面での不明な点や、分からない日本語をどう伝えれば理解してもらえるだろうと、言葉を選びながら説明するのは難しかったけれど、チューターみんなで力を合わせて必死に頑張ったことが印象に残っています。この貴重な体験をとおして大切な友達が増え、挑戦して本当に良かったと思っています。



チューター 牧野 桃子 文化学部:2回生

## 留学生をサポートする取り組みがいろいろあります

### 国際交流クラブ

国際交流クラブでは、留学生のための歓迎会・送別会やイベントを企画・運営しています。歓迎会やイベントでは、どうすれば留学生が楽しんでくれるか、そしてなんといっても高知での生活への不安をなるべく少なくして、大いに留学生生活を満喫してもらいたいという思いで活動しています。歓迎会などでは、たくさんの良い「出会い」をしてもらいたいという気持ちもあります。



### フレンドシップパートナー

フレンドシップパートナーとして主な活動は、週1回程度留学生が分からない課題などを教える勉強会や普段の日常生活で何か困っていることがあれば相談に乗ることがあります。また、楽しく日常会話を学ぶことができるように昼休みなどに一緒に食べながら会話をすることもあります。留学生の日本語が上達できるようにできる限り日本語で話すように心がけています。



休みに愛媛に行きたいと言っていた留学生を愛媛の実家に招待!

留学生たちは、日本のあちこちらに行ってみたくて思っています。連休に愛媛に行きたいと言っていたので、それなら愛媛出身の私が実家に招待しよう、一緒に帰省しました。家族も一生懸命にいろんなおもてなしをしてくれ、日本の日常の暮らしを体験できたと喜んでくれたのが嬉しかったです。



いつもカメラマン。あとでデータや写真を渡すと喜んでくれる。

バスハイクや歓迎会、クリスマスパーティーなど、国際交流イベントに参加するときはいつもカメラマンに徹しています。あとでデータや写真を渡すと、みんな、すごく喜んでくれます。



ついつい、おせっかいこれが高知県民の性分。

留学生それぞれの宿舎の玄関口に日本語、英語、中国語の生活安全ガイドを備え付けたり、留学生が来る前に最低限度の日用品を揃えて、使いやすいように、宿舎の要所要所に置いています。ついつい、おせっかいしてしまうのは高知県民の性分。地域の方々(宿舎修繕の業者の方など)も、気にかけて、よくお世話をしてくれます。



留学生との生活は、いろんなエピソードと思い出がいっぱいです!  
「おせっかい」は「おせっかしい」

探し物がある時は買い物にも付き合います。

留学生があるモノを探して、私も一緒に専門店で付き合いました。でも予想以上に値段が高くて購入するのを諦めたことがあります。なんとか同じモノを安く買えないだろうか、私は後日、一人で探しに行き、100円ショップで見つけてプレゼントしました。



事務室では自転車の貸し出しや修理も。

高知は公共交通が不便な点も多い、街がコンパクトなので自転車が便利。その高知での生活の足として、事務室では自転車を貸し出しています。不具合があった時は職員で修理をすることも。だんだん、修理の腕も上がってきたようです。



日本での友達の作り方がわからないという悩み相談も。


以前、日本での友達の作り方がわからないという相談を受けたことがあります。「日本人はゆっくり時間をかけて絆を深めていく人が多いんだよ」と答えたら、安心してくれました。



身体の具合が悪くなった時、病院に付き添うこともあります。

異国で身体の具合が悪くなると、とても不安。留学生にとって健康管理はとっても大切です。病院の紹介から付き添いまで、必要に応じて対応しています。



 高知県立大学

池キャンパス：〒781-8515 高知県高知市池2751-1  
TEL.088-847-8700(代表) FAX.088-847-8670

永国寺キャンパス：〒780-8515 高知県高知市永国寺町5-15  
TEL.088-873-2156(代表) FAX.088-873-3934

<http://www.u-kochi.ac.jp/>